

# 東大病院だより

HISTORY OF THE UNIVERSITY OF TOKYO HOSPITAL

## 山極勝三郎と「胃癌発生論」

「胃癌発生論」の著者である山極勝三郎は、1863年（文久3年）に長野県上田市に生まれました。1888年（明治21年）に東京大学医学部本科を卒業し、病理学教室の助手となりました。その後、ベルリン大学のウィルヒョウのもとに留学しました。帰国後、病理学教室第二講座の初代教授となり、日本病理学の基礎を築く活躍を見せました。山極は病理の研究者として、がん、脚気、ツベルクリン、ペストなどの研究を行いました。「脚気病論」や「ペスト病論」も彼の著書です。

1905年（明治38年）5月に刊行された「胃癌発生論」は、ドイツ留学から帰国後、山極ががんの発生に関心を持ち、我が国で多かった胃がんの症例をあつめ解析した結果をまとめたものです。山極は、この著書の中で、胃がんの発生は暴飲暴食などの慢性的に繰り返される刺激が重要な因子であると指摘しています。

胃がん発生を検証するため、山極の研究は実験動物を用いた発がん実験に進みます。この実験では、長期にわたりウサギの耳にコールタールを忍耐強く塗擦し続けて、人工的に発がんさせることに成功しました。この人工がんの研究はその後ノーベル賞の候補になるほど、世界に認められました。



1905年（明治38年）に刊行された山極勝三郎の著書「胃癌発生論」（東京大学医学図書館所蔵）表題

### 出来事

9月～12月

9/10  
月

#### 東京消防庁より感謝状

9月9日の「救急の日」にあたり、多年にわたる救急行政への協力や救急業務の充実発展に向けた貢献に対して東京消防庁より感謝状が授与された。



10/4  
木  
10/6  
土

#### 「医療・看護フェスタ2018」開催

入院棟A・1階レセプションルームにて「医療・看護フェスタ2018」を開催。東京大学鉄門ピアノの会や医師・看護師によるスタインベルグピアノの演奏会ほか、口腔ケアや嚥下機能・誤嚥予防に関する展示を行った。（看護部）



10/17  
水  
11/15  
木

#### 地域連携会「診療科別勉強会」開催

地域の先生方との連携強化を目指して例年開催している地域連携会のほかに、診療科の特色や治療の特徴などを紹介する診療科別勉強会を企画し全6回にわたり開催した。（地域医療連携部）



10/31  
水

#### ハロウィンパレード

毎年恒例となったハロウィンパレード。今年も個性豊かな衣装を身にまとった子供たちが看護師や保育士らと一緒にたくさんのお菓子などをもらいながら院内をパレードした。（小児医療センター）



11/6  
火

#### FOOD HALL いちよう by ROYAL オープン

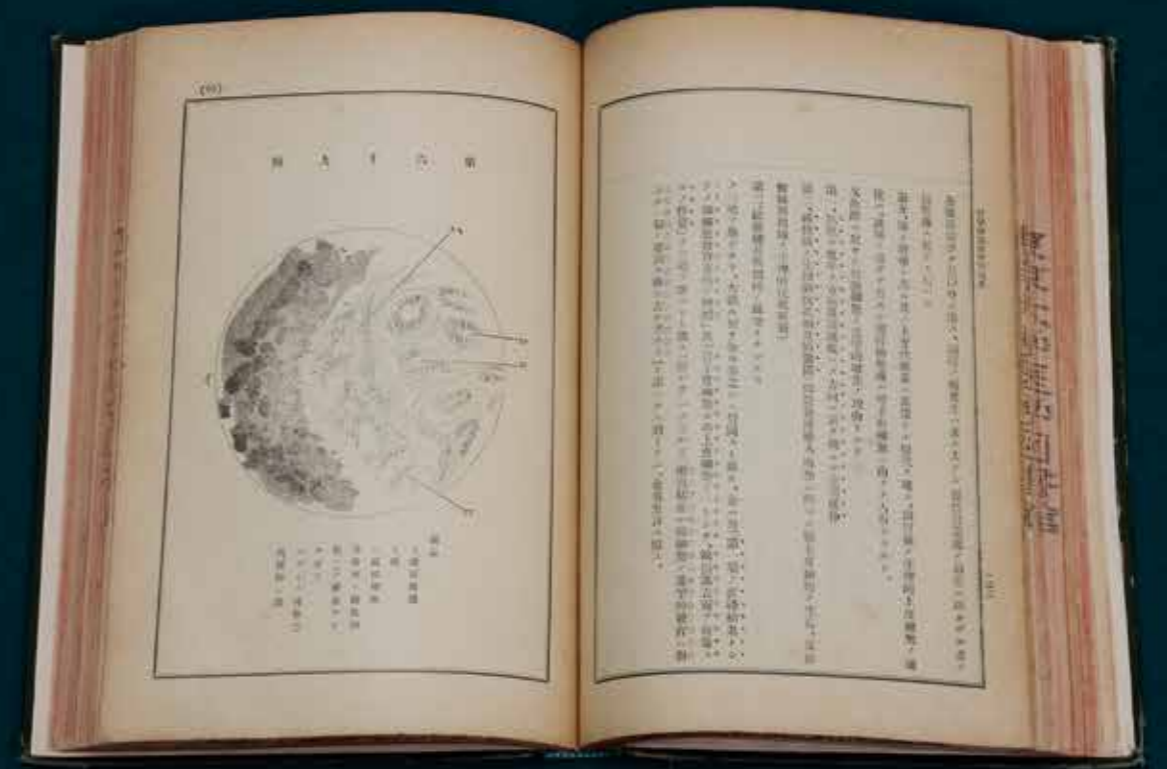
入院棟A・1階にレストラン“FOOD HALL いちよう by ROYAL”がオープンした。店内は一人でも気軽に立ち寄れる雰囲気、日替わりランチセット650円（税込）のほか、種類豊富な喫茶メニューも豊富。（好仁会、ロイヤルコンタクトサービス）



12/19  
水

#### クリスマスコンサート 開催

1971年に創部した東京大学吹奏楽部のメンバーが「サザエさんア・ラ・カルト」「きよこの夜」「くるみ割り人形」「演歌メドレー」などの演奏をプレゼントしてくれた。（臨床倫理・サービス向上・接遇委員会）



明治38年に刊行された山極勝三郎著「胃癌発生論」（東京大学医学図書館所蔵）の中の1ページ  
裏表紙に関連記事

## 【特集】 骨粗鬆症センター

東大病院から世界へ発信

「光」が導く確実な手術：蛍光イメージングを用いた肝胆膵手術の開発

医学歴史ミュージアムの紹介

スイス・ジュネーブの国際赤十字・赤新月博物館













# 年頭のご挨拶

病院長 齊藤延人



改元の年となりました。多くの方々がこの節目に気持ちを新たにされるのだと思いますが、病院にとりましても今年は大きな節目の年となります。

東大病院は、その起源を1858年の神田お玉が池種痘所の設立に遡ります。日本の近代医学教育を支えてきた創立160年の歴史と伝統のある病院です。これまで永きにわたり優秀な人材を多数輩出し、日本の医療の発展に貢献して参りました。現在の東大病院は、年間約70万人の外来患者さんと、延べ36万人の入院患者さんの診療を行うために、1228床の病床数を持ち、約4千人の教職員が働いています。

昨年正月より新しい入院棟Bが稼働しました。小児科、小児外科、女性外科、血液・腫瘍内科、精神神経科、メンタルヘルス関連部門、救命救急センター等が移転し、高度心不全治療センターや消化器センター等の新機軸の病棟も順調に稼働しています。追加で継続していた13階～15階の工事は昨年夏に完成しました。治験病床（P1ユニット）は30床と増床し、検診部も予防医学センターと名称を変え機能強化しました。工事中は喫食スペースが限られてご不便をおかけしましたが、新しい食堂として入院棟Bの1階に喫茶（Caféゆりの樹 by ROYAL）が先にオープンし、入院棟Aの1階に「FOOD HALLいちよう by ROYAL」が昨年オープンしました。ご来院の際には是非ご利用下さい。新入院棟Bに移転した小児病棟や女性外科病棟の入院棟Aの跡地では、NICUやPICUをはじめ、小児・周産期病床を増床するための改修工事が現在も続けられ、この春には完成する予定です。この完成をもって入院棟の工事は一段落となります。

東大病院は、「当院は臨床医学の発展と医療人の育成に努め、個々の患者に最適な医療を提供する」という理念のもと、診療・研究・教育の三つの使命を果たすべく、教職員が一丸となって日々努力を続けています。なかでも最も重視しているのが、患者さんの意思の尊重です。そのためには、意志を伝えやすくする環境が重要です。患者さんや職員のコミュニケーションを大切にし、病める人に寄り添い、その気持ちを慮り、患者さんから学ぶ姿勢を大事にします。また、安全な医療を提供する意識やシステムを文化として浸透させ、この理念を実現します。新しい年も引き続き患者さんや社会からの期待に応じてその使命を果たすよう東大病院は誠実に努力を続けてまいります。皆様の日頃からのご支持やご支援に感謝申し上げますとともに、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

2019年1月

## 東大病院へのご寄附のお礼

### 1. 東大病院募金

東大病院募金へのご寄附は、①医療機器の購入、②スタッフの育成、③サービスの向上・院内環境の整備のために役立たせていただきます。

● 寄附者ご芳名 ご承諾いただいた方に限り、ここにご芳名を掲載させていただきます。※2018年8月1日～2018年12月31日（順不同）

新藤 英明 様	高野 光 様	Asosiasi Rumah Sakit Swasta Indonesia 様	吉田 哲 様	東レ株式会社様	和泉 智代 様
大和 幸昭 様	合同会社ZN商会様	金澤良信様	山本 功 様	東 絵里 様	古居正昭様
市川 英里 様	サンクスナチュレ株式会社	岡本 房子 様	加藤 哲也 様	小沢 昭展 様	高見 澤磨 様
渡辺 泰江 様	NPO法人全日本華人科学技術促進会	黒澤 宏子 様	NPO法人日中医学交流センター	小塚 一隆 様	清水 信行 様
広瀬 晴之 様	橋口 涉 様	島村 郁 様	品田 正瑞 様	野口 剛 様	株式会社国際マーケティングサービス 様
吉田 英雄 様	叶野 悦子 様	山崎 洋一郎 様	吉川 弘志 様	森 法子 様	田邊 萌 様
桑代 憲夫 様	池田 義弘 様	岡村 茂暁 様	樋口 早苗 様	山本 仁 様	北島 頼明 様

● お申込み状況

総件数：630件 総額：130,210,938円

● お申込み方法

・WEBサイトからクレジットカードでいますぐご寄附いただけます。

お申込みページ ([https://fundexapp.jp/h\\_u-tokyo/entry.php](https://fundexapp.jp/h_u-tokyo/entry.php))

・外来診療棟、入院棟スタッフステーション、売店にあるパンフレット同封の申込書にご記入のうえ、お近くの当院職員にお申し出ください。



スマートフォン・  
携帯電話の方は  
こちら

### 2. 東大病院メディカルタウン基金

健康に長生きできる社会実現のため、最先端の研究成果から新しい治療技術の開発を加速する拠点「東京大学メディカルタウン」を整備中です。皆様からのご支援は、東京大学基金を通じて新研究棟・新病棟の建設費用や、研究・医療機器の充実のために役立たせていただきます。30万円以上ご寄附の方については、安田講堂と院内に銘板を掲示させていただきます。



● 寄附者ご芳名 ご承諾いただいた方に限り、ここにご芳名を掲載させていただきます。※2018年7月1日～2018年9月30日時点（順不同）

湯浅よし子 様 荻谷 健次 様

● お申込み状況

総件数：131件 総額：33,127,006円

● お申込み方法

東京大学基金ホームページ (<http://utf.u-tokyo.ac.jp/>) からクレジットカード等でいますぐご寄附いただけます。

※ご寄附についてのお問い合わせ

東大病院 経営戦略課 渉外チーム e-mail:bokin@adm.h.u-tokyo.ac.jp TEL: 03-5800-8619 (直通) 受付時間: 平日 午前8:30～午後5:00